



えひめ



九州北部豪雨による災害のため、海面清掃兼油回収船「いしづち」を派遣しました。

Contents

- 西条市内の小学生が東予港の役割について学ぶ！
- 現場だより 東予港の工事が着々と進んでいます！
- 松山みなと見学会を開催しました
- 開南大学と愛媛大学の学生がみなとオアシスを見学しました
- 海面清掃兼油回収船「いしづち」を周防灘へ派遣
- ヒアリの侵入・定着を防止するための緊急工事を実施しました

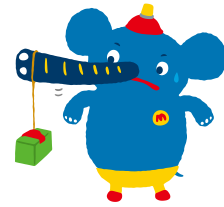


松山港外港地区国際物流ターミナルでの同時接岸

西条市内の小学校が東予港の役割について学ぶ！

【開催日と見学した小学校】

- ・ 6月26日（月） 西条市立国安小学校 4年生 27名
- ・ 7月04日（火） 西条市立三芳小学校 3年生 19名
- ・ 7月11日（火） 西条市立吉井小学校 6年生 25名



現在、整備を進めている東予港の工事現場にて、西条市内の小学校3校を対象に現場見学会を開催しました。この見学会は、小学校から社会科授業の一環として要望があり、「地元で身近にある東予港の役割について学ぶこと」をテーマに開催したものです。

見学会は、東予港複合一貫輸送ターミナルの事業概要と工事概要の説明、工事現場見学の順番で行われました。みなさん、普段は見るできない港の工事に興味津々でした。



事業概要説明



工事概要説明



浚渫作業を陸から見学



防災について勉強しました

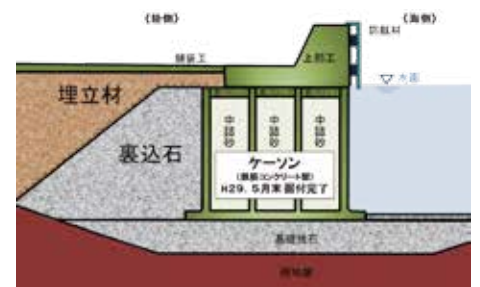
現場だより

東予港の工事が着々と進んでいます！

平成29年5月末にケーソン全16函の据付が完了してから、中詰砂の投入、蓋ブロックの据付、6月には裏込石を投入し、徐々に新しい岸壁の形が見えてきました。また、埋立材には、推石の他にカルシア改質土を使用しています。

カルシア改質土は、東予港浚渫工事によって発生する浚渫土とカルシア改質材※を混合したものです。カルシア改質土を埋立材として使用することにより、地震に強い耐震強化岸壁としての強度を確保しつつ、浚渫土の有効利用が図られます。

引き続き、 来年夏頃の供用を目指して、安全第一で工事を進めていきます。



岸壁(水深7.5m)断面イメージ図



カルシア改質材及び浚渫土混合



カルシア改質土投入



カルシア改質土ならし作業

※カルシア改質材とは・・・製鉄の製鋼工程で、副次的に生成される製鋼スラグを原材料とし、成分管理と粒度調整した材料です。

松山みなと見学会を開催しました

今年も小学生の方を対象に「松山みなと見学会」を8月9日（水）に開催しました。

地元紙の「リビングまつやま」や当事務所のホームページを見て、募集人数の約3倍もの方々から応募があり、参加は抽選となりました。

午前（10時～11時30分）と午後（14時～15時30分）の部に分けて開催し、合わせて27名が参加しました。



海面清掃兼油回収船「いしづち」

「いしづち」船内見学

の船内見学の後、港湾業務艇「くるしま」に乗って海から松山港を見学しました。「いしづち」の船内見学では、多関節クレーンや門型クレーンが大きな流木を持ち上げる作業をみて、参加者から歓声が上がりました。また、放水銃の実演では放水の迫力に大人も子供も大興奮でした！

港湾業務艇「くるしま」による海上見学では、松山港外港地区国際物流ターミナルにおいて、今年4月に供用を開始した水深13m岸壁やガントリークレーンを船上から見学しました。



見学会での一番の盛り上がりは、松山空港の沖で「くるしま」の上空を飛行機が通った時でした。



「くるしま」による見学

開南大学と愛媛大学の学生がみなとオアシスを見学しました！

9月6日（水）に開南大学（台湾）と愛媛大学が、みなとオアシス「八幡浜みなと」を見学しました。今回の見学会は、産学官の交流・連携の一環として、将来の地域活性化の担い手となる学生たちに活きた教材を提供するとともに、みなとオアシスに対する学生（海外含む）の斬新な発想や意見を聞くことにより、みなとオアシスが地域活性化の拠点として、更に進化を遂げられるよう実施されたものです。

学生たちからは、「フェリー利用で通過する観光客をどのように取り込んでいるのか」、「みなとで行われている各種イベントはどのようなものがあるのか」、「漁獲量の減少、魚離れが進んでいるが何か取り組みはされているのか」など、多数の質問があり、「八幡浜みなと」のイベントを成功させる手法などに興味をもったよう有意義な見学会となりました。



卸売市場の見学



どーや市場の見学



開南大学と愛媛大学との記念撮影

海面清掃兼油回収船「いしづち」を周防灘へ派遣

平成 29 年 7 月 15 日（土）～ 17 日（月）及び 7 月 22 日（土）～ 26 日（水）、九州北部豪雨により海域へ流出した木や浮遊ゴミの回収のため、九州地方整備局から要請を受け、当事務所所属の海面清掃兼油回収船「いしづち」を周防灘にむけて出動させました。

周防灘の海域では、貨物船などへの航行障害や漁業・環境への影響となる流木や葦類を合わせて 69 m³を回収しました。

【回収実績】

7 月 15 日（土）～ 17 日（月）：流木 38 本 (2m 以上)

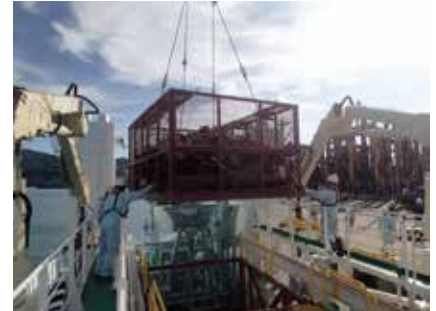
7 月 22 日（土）～ 26 日（水）：流木 102 本 (2m 以上)、葦類 21 m³



出港式



船上での流木回収作業



流木等が入った回収カゴの
陸揚げ作業

「ヒアリ」の侵入・定着を防止するための緊急工事を実施しました

平成 29 年 7 月 28 日（金）、特定外来生物「ヒアリ」の侵入と定着を防ぐため、ヒアリの分布地である中国などとの外貿定期コンテナ航路を有する松山港、三島川之江港、今治港において緊急工事を実施しました。緊急工事は、コンテナヤードの舗装の隙間にアスファルトを流し込むもので、ヒアリが地盤に入り込んで巣を作るのを防止することを目的としています。

現在、愛媛県内においては、ヒアリは確認されていませんが、今後、港湾管理者及び利用者等と連携しながら対策を進めていくこととしています。



舗装の隙間を埋める工事を行いました。

編集後記

私が、入省して半年が経ちました。

毎日が勉強で、とても充実した毎日をおくっています。話が変わりますが、もう秋が終わります。秋といえば、「スポーツの秋」、それから「食欲の秋」、どちらも楽しめました！

企画調整課 中矢



松山空港にて
芝生も秋色に？



＜ 事務所のご案内 ＞

■松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058 松山市海岸通2426-1 【TEL】089-951-0161 【FAX】089-946-8010

■東予港出張所

〒799-1353 西条市三津屋南2-15 【TEL】0898-64-3650 【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.32 編集・発行 (紙面編集/須賀)



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail (企画調整課)】 pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp

【URL】 <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html>

【海とみなとの相談窓口】 0120-497-370 (全国共通フリーダイヤル)

受付時間 9:30～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)